|      | 10410404             |    | 所管課      | 都市政策部 道路環境整備課         | 事業年 | F度      | 令和4年度    |    | 事業区分              | _           |
|------|----------------------|----|----------|-----------------------|-----|---------|----------|----|-------------------|-------------|
| 事業名  |                      |    | 根拠法令     | 粕屋町一般廃棄物再生利用業の指定に関する規 | 則   | 章科目     | 会計       | 款  | 項目環境              | 衛生費         |
|      |                      |    | 行政計画     |                       | Y 5 | 4件日     | 一般会計     | 4  | 1 4 <sup>块块</sup> | <b>用土</b> 頁 |
| 基本目標 | 4 健全で持続可能な行政経営をめざすまち | 政策 | 3 広域的な視点 | に立ったまちづくり             | 施策  | (1) 連携し | して取り組む 広 | 域行 | 政の推進              |             |

#### 前期基本計画の主な取組と成果

○魚滓処理を行っていた福岡市水産加工公社が解散し、民間へ移行することが必要となったため、「粕屋町一般廃棄物再生利用業の指定に関する規則」を制定し、集荷業者(福岡魚滓集荷協同組合)に再生利用業の許可を与え、処分を民間業者へ移行することになった。

#### 後期基本計画のまちづくりの課題と展望

○多種多様なサービスの提供や利便性向上のため、自治体の区域を越えた広域での共同運営を協議検討する必要がある。

#### 後期基本計画中における事務事業の取組方向

〇ごみ処理施設構成町にて、次期処理施設の運営方針や老朽化施設の対策 について協議を進めいている。

## 2. 実施計画(PDCAサイクル)

## 計画(Plan)

## 事業目的

○さまざまなサービスの提供や利便性の向上と町単独による財政面の限界に対 応するために、複合的、総合的に連携して取り組む必要があるため。

#### 計画(Plan)

実施方法

○清掃協議会、福岡都市圏環境行政推進協議会、魚滓処理対策協議会、須恵町外二ヶ町清掃施設組合等により自治体の区域を越えて住民サービスや行政事務を共同で広域的に行う。

#### 実施(Do)

| 2 (100 ()    |         |         |
|--------------|---------|---------|
|              | 事業費(千円) |         |
| 年度           | R3決算額   | R4決算額   |
| 歳出           | 426,932 | 425,334 |
| 歳入<br>(特定財源) | 4       | 0       |

## 実施(Do)

#### 実施結果

○ごみ処理施設構成町にて廃棄物の回収・処理方法についてや次期ごみ処理 施設に向けての協議を行った。

〇シリコーンリユースラップ等の啓発用品を都市圏市町で共同購入し、住民へ配布活動を行い環境行政に関する問題点や取組についての情報交換を行った。

## 評価(Check)

課題

○次期ごみ処理施設稼働に向けて処理方法の変更により、分別方法やごみ袋の変更などの問題を整理する必要がある。また、サービスの提供や利便性向上のため、共同運営を協議する必要がある。

○規制対象とならない騒音、野焼き等の相談や苦情への対応。

## 改善(Action)

改善方法

○粗大ごみ搬入受付方法の改善など、住民サービス向上のため構成町にて協 議していく。

〇次期ごみ処理施設建設に際して、ZEB化の提言を行う。

## 3. 事業フロー(ロジックモデル)

## ①結果のアウトプット(どのような活動を行うのか)

○清掃協議会、福岡都市圏環境行政推進協議会、福岡魚滓処理対策協議会、須恵町外ニケ町清掃施設組合等が行う環境衛生事業に必要な負担金の交付

#### ②効果のアウトプット(活動の結果どうなるのか)

>

○町内全域の安定したごみの収集が可能となる。

## ③アウトカム(町としてどうなるのか)

○共生社会、脱炭素・循環型社会の形成につながる。

| 年度  | R1年度            | R4年度                                    | R7年度(最終)   |
|-----|-----------------|---|--|
| 目標値 |                 | 1                                       | 1  |
| 実績値 | 1               | 1                                       |  |
| 達成率 |                 | 100.0%                                  | 0.0%   |
| 目標値 |                 | 2,300                                   | 2,000  |
| 実績値 | 2,552           | 2,459                                   |  |
| 達成率 |                 |   |  |
|     | 実績値 達成率 目標値 実績値 | 日標値<br>実績値 1<br>達成率<br>目標値<br>実績値 2,552 | 目標値     1       実績値     1       達成率     100.0%       目標値     2,300       実績値     2,552       2,459 |

| 成果指標(アウトカム)   | 年度  | R1年度  | R4年度  | R7年度(最終) |
|---------------|-----|-------|-------|----------|
| 年間1人あたりのごみ搬入量 | 目標値 |       | 240   | 230      |
|               | 実績値 | 252   | 249   |          |
| 単位: kg/年      | 達成率 |       |       |          |
| し尿搬入量         | 目標値 |       | 1,500 | 1,500    |
|               | 実績値 | 1,678 | 1,509 |          |
| 単位: kl/年      | 達成率 |       |       |          |

|      | 10410401                  |    | 所管課       | 都市政策部 道路環境整備課       | 事業年  | F度 令:    | 和4年度   | 事業区分              | _    |
|------|---------------------------|----|-----------|---------------------|------|----------|--------|-------------------|------|
| 事業名  | 環境衛生事業                    |    | 根拠法令      | 粕屋町あき地の除草等の除去に関する条例 | 字 復  | 算科目 —    | 会計 款   | 項目環境              | 衛生費  |
|      | 以                         |    | 行政計画      |                     | 1/ 身 | - 14     | -般会計 4 | 1 4 <sup>環境</sup> | .用工頁 |
| 基本目標 | 2 都市と自然が調和し、快適に暮らせる活力あるまち | 政策 | 3 自然にやさしく | 住みよい環境のまちづくり        | 施策   | (1) 次世代に | 継承する自然 | 環境の保全             |      |

#### 前期基本計画の主な取組と成果

○町民による環境美化活動や道路堤防などにおける計画的な草刈りの実施により、景観の保持を行った。

〇ペット(畜犬)の適正管理を行うとともに狂犬病予防接種の周知を行った。

#### 後期基本計画のまちづくりの課題と展望

○生活環境保全のため、道路・堤防などの計画的な草刈りを行うとともに、町民の環境美化への意識向上を図り、環境美化作業への参加を促進する必要がある。

#### 後期基本計画中における事務事業の取組方向

〇定期巡回により、町内の道路堤防などを確認し、計画的な草刈や不法投棄回収を行う。

## 2. 実施計画(PDCAサイクル)

## 計画(Plan)

#### 事業目的

○環境美化への意識向上を図り、草刈り等の実施により生活環境の保全を図る ため

- ○犬猫等飼い主のマナー及び動物愛護に対する意識向上を図るため。
- ○飼い主のいない猫を減らし、猫に起因する生活環境被害の軽減を図るため。

#### 計画(Plan)

実施方法
〇計画的な草刈りを実施し、不法投棄防止の啓発や早期発見、回収に努めるとともに町民へ環境美化への意識向上を図る。

〇大の適正管理を行い、大の登録及び狂犬病予防注射の接種義務やペット飼い主としての責任、動物愛護に対する普及啓発を行う。

○地域猫活動による不妊去勢手術代を負担する。

## 実施(Do)

|   | 2 (n) ( /    |         |        |
|---|--------------|---------|--------|
|   |              | 事業費(千円) |        |
|   | 年度           | R3決算額   | R4決算額  |
| • | 歳出           | 12,297  | 12,810 |
|   | 歳入<br>(特定財源) | 1,138   | 1,159  |

## 実施(Do)

#### 実施結果

○道路、堤防等の計画的な草刈りを実施するとともに、不法投棄の早期回収に 努めた。また、空き地所有者には適正管理としての草刈り指導を行った。 地域の環境美化作業においては、昨年度に比べて実施する団体が多かった。

○飼主のマナー、動物愛護に関する啓発を行った。

## 評価(Check)

課題

○空き地の自主的な適正管理を促進し、環境保全や景観保持の住民意識を推進していく必要がある。

○犬猫等に関する苦情を減らす必要がある。

#### 改善(Action)

改善方法

〇パロールを強化し、不法投棄の早期発見に努める。

〇野良猫に対する苦情を減少させるため、超音波式猫被害軽減器の貸し出しや 地域猫活動への啓発・支援を行っていく。

## 3. 事業フロー(ロジックモデル)

#### ①結果のアウトプット(どのような活動を行うのか)

- ○地域の環境美化活動の支援
- ○犬の登録管理や狂犬病集団予防接種を行う
- ○動物死骸の処理

#### ②効果のアウトプット(活動の結果どうなるのか)

○住民による草刈り等の環境美化活動が維持・拡大する。

○犬の登録を行うことにより適正な管理が行える。

#### ③アウトカム(町としてどうなるのか)

○環境美化、環境衛生への住民意識が向上し、住民の主体的な美化活動が広 がる

○飼い主としての責任やマナーが向上する。

| 活動指標(アウトプット)       | 年度  | R1年度   | R4年度   | R7年度(最終) |
|--------------------|-----|--------|--------|----------|
| 環境美化回数             | 目標値 |        | 45     | 45       |
|                    | 実績値 | 41     | 38     |          |
| 単位: 回/年            | 達成率 |        | 84.4%  | 0.0%     |
| 草刈り実施面積            | 目標値 |        | 60,000 | 60,000   |
|                    | 実績値 | 54,651 | 51,369 |          |
| 単位: m <sup>2</sup> | 達成率 |        | 85.6%  | 0.0%     |

| 成果指標(アウトカム)    | 年度  | R1年度   | R4年度   | R7年度(最終) |
|----------------|-----|--------|--------|----------|
| [施策]環境美化活動の延べ参 | 目標値 |        | 12,000 | 12,000   |
| 加者数            | 実績値 | 11,083 | 9,625  |          |
| 単位: 人/年        | 達成率 |        | 80.2%  | 0.0%     |
|                | 目標値 |        |        |          |
|                | 実績値 |        |        |          |
| 単位:            | 達成率 |        |        |          |

|      | 10410501                  |    | 所管課       | 都市政策部 道路環境整備課 | 事業年            | F度      | 令和4年度   |     | 事業区分 | _    |
|------|---------------------------|----|-----------|---------------|----------------|---------|---------|-----|------|------|
| 事業名  | 公害対策事業                    |    | 根拠法令      | 環境基本法         | マ 恒            | <br>算科目 | 会計      | 款   | 項目   | 対策費  |
|      | 公古对東事業                    |    | 行政計画      | なし            | 了 <del>了</del> | 717 日   | 一般会計    | 4   | 1 5  | N 宋真 |
| 基本目標 | 2 都市と自然が調和し、快適に暮らせる活力あるまち | 政策 | 3 自然にやさしく | 住みよい環境のまちづくり  | 施策             | (1) 次世代 | 七に継承する自 | 自然環 | 境の保全 |      |

前期基本計画の主な取組と成果 〇公害の発生源となる事業者等に対し改善指導を行った。 後期基本計画のまちづくりの課題と展望

○公害のない住みよいまちづくりのため、騒音、悪臭などの公害への監視を行う とともに、発生源への指導体制を強化する必要がある。 後期基本計画中における事務事業の取組方向

○公害発生時には関係部署と連携し、迅速な対応をするとともに、原因を詳細 に調査し発生源者に対し改善指導を行う。

## 2. 実施計画(PDCAサイクル)

## 計画(Plan)

事業目的

〇町民の健康で文化的な生活を確保するうえで、公害対策がきわめて重要であるため、公害対策の総合的推進を図り、町民の健康を保護するとともに生活環境を保全するため。

#### 計画(Plan)

実施方法

○公害発生状況を確認・調査し、発生源者に対して施設の使用方法及び配置変更等の改善指導を行う。

〇井戸所有者の協力の下、水質検査を実施する。

## 実施(Do)

|   | 2 1/2 1      |         |       |
|---|--------------|---------|-------|
|   |              | 事業費(千円) |       |
|   | 年度           | R3決算額   | R4決算額 |
| - | 歳出           | 253     | 224   |
|   | 歳入<br>(特定財源) | 15      | 15    |

## 実施(Do)

実施結果

○旧最終処分場とその周辺井戸水の水質検査を実施した。

○公害発生源となる事業者に対して、改善等の注意・指導を行った。

## 評価(Check)

課題

○法的規制がない騒音や悪臭苦情に対しての対処方法に苦慮した。

## 改善(Action)

改善方法

○協議会等を通じて他自治体との情報交換を強化し、より良い対応策を取り入れていく。

## 3. 事業フロー(ロジックモデル)

#### (1)結果のアウトプット(どのような活動を行うのか)

○旧最終処分場周辺井戸水の水質検査の実施

○公害発生源者に対する改善等の注意・指導

#### ②効果のアウトプット(活動の結果どうなるのか)

○水質汚染の早期発見ができる。

○公害発生に対する改善指導を行うことで公害の縮小・防止ができる

## ③アウトカム(町としてどうなるのか)

○公害防止対策が充実し、住民の健康な暮らしが守られる。

| 活動指標(アウトプット) |        | 年度  | R1年度 | R4年度   | R7年度(最終) |
|--------------|--------|-----|------|--------|----------|
| 水質検査実施       | ケ所     | 目標値 |      | 7      | 7        |
|              |        | 実績値 | 8    | 7      |          |
| 単位:          | 単位: ヶ所 |     |      | 100.0% | 0.0%     |
|              |        | 目標値 |      |        |          |
|              |        | 実績値 |      |        |          |
| 単位:          |        | 達成率 |      |        |          |
|              |        |     |      |        |          |

| 成果指標(アウトカム) | 年度  | R1年度 | R4年度 | R7年度(最終) |
|-------------|-----|------|------|----------|
|             | 目標値 |      |      |          |
|             | 実績値 |      |      |          |
| 単位:         | 達成率 |      |      |          |
|             | 目標値 |      |      |          |
|             | 実績値 |      |      |          |
| 単位:         | 達成率 |      |      |          |

|      | 10420202                  |    | 所管課       | 都市政策部 道路環境整備課 | 事業生  | 丰度      | 令和4年度  |     | 事業区分   | R4重点 |
|------|---------------------------|----|-----------|---------------|------|---------|--------|-----|--------|------|
| 事業名  | リサイクル推進事業                 |    | 根拠法令      |               | 字 作  | 算科目     | 会計     | 款   | 項目無数   | 処理費  |
|      | リリインル推進事業                 |    | 行政計画      |               | 1/ 3 | 异付日     | 一般会計   | 4   | 2 2    | 处垤其  |
| 基本目標 | 2 都市と自然が調和し、快適に暮らせる活力あるまち | 政策 | 3 自然にやさしく | 住みよい環境のまちづくり  | 施策   | (2) 環境負 | 負荷の少ない | 循環型 | 世社会の創造 |      |

#### 前期基本計画の主な取組と成果

〇リサイクル置場の新規設置、マイバッグの配布などにより、ごみを減らす3R(リデュース・リユース・リサイクル)活動の実施及び不法投棄防止の啓発活動を行い、ごみの減量化を進めた。

○食品ロスに対しての啓発を行うとともに、生ごみ処理機購入補助金交付要綱 を制定した。

#### 後期基本計画のまちづくりの課題と展望

○持続可能な社会に向けたSDGsの推進など、地球規模での環境問題への意識が高まる中、循環型社会に向けたさらなる取組みが求められている。 ○ごみの適切な搬出方法を周知し、リサイクル置場の利用促進やごみの分別徹底を図るため、町民のリサイクル意識をさらに向上させる取組みが必要となってしる。

#### 後期基本計画中における事務事業の取組方向

○循環型社会の形成を推進するため、プラスチックごみ削減取り組みとして、マイバッグを配布し、レジ袋削減及び買い物袋の持参を促進していく。 ○リサイクル置場の利用促進や食品ロス削減への呼びかけをおこない、ごみ減量化への取り組みに努める。

## 2. 実施計画(PDCAサイクル)

## 計画(Plan)

#### 事業目的

○2050年カーボンニュートラルの実現を目指すため。

O3R(リデュース・リユース・リサイクル)を促進し脱炭素社会の形成を図るため。

#### 計画(Plan)

実施方法 〇粕屋町としての脱炭素計画を策定する。

○プラスチックごみ削減取り組みとして、マイバッグを配布し、レジ袋削減及び買い物袋の持参を促進していく。

〇リサイクル置場の利用促進や食品ロス削減への呼びかけをおこない、ごみ減量化への取組みに努める。

#### 実施(Do)

|   | ラベル じくり      |         |        |
|---|--------------|---------|--------|
|   |              | 事業費(千円) |        |
|   | 年度           | R3決算額   | R4決算額  |
| - | 歳出           | 34,267  | 41,726 |
|   | 歳入<br>(特定財源) | 4,342   | 3,449  |

## 実施(Do)

#### 実施結果

〇ごみの適切な搬出方法を住民・事業者に対し、詳細な説明を行った。また、リサイクル置場の利用促進や生ごみ処理機購入補助制度等の周知を広報やHPを通じて行った。

〇地球温暖化対策実行計画(区域施策編)の基礎となる「地域再エネ導入戦略」を策定した。

#### 評価(Check)

課題

〇ごみの分別やリサイクルを推進し、引き続きごみの排出量を削減の周知・啓発を行う 必要がある。

○「ゼロカーボンシティかすや」実現に向けて「地域再エネ導入戦略」を基に具体的な 施策を実行計画として策定する。

#### 改善(Action)

改善方法

〇脱炭素社会実現に向け、情報収集を行い、粕屋町としての地球温暖化対策 実行計画づくりを行う。

## 3. 事業フロー(ロジックモデル)

## ①結果のアウトプット(どのような活動を行うのか)

- ○リサイクルボックス設置、不燃物集積所設置補助
- ○生ごみ処理機・生ごみ発酵処理容器購入補助
- ○古紙類集団回収への支援、草・樹木等の資源化
- ○不法投棄廃棄物の排出除去

#### ②効果のアウトプット(活動の結果どうなるのか)

○ごみの減量及びリサイクルの向上、食品ロス削減が進む。

#### ③アウトカム(町としてどうなるのか)

○住民のリサイクル意識が高まり、環境負荷が軽減された循環型社会が実現される。

| 活動指標(アウトプット)   | 年度  | R1年度 | R4年度   | R7年度(最終) |
|----------------|-----|------|--------|----------|
| 生ごみ処理機・生ごみ発酵処理 | 目標値 |      | 20     | 20       |
| 容器購入補助申請件数     | 実績値 | 8    | 27     |          |
| 単位: 件/年        | 達成率 |      | 135.0% | 0.0%     |
| 古紙類回収団体数       | 目標値 |      | 60     | 60       |
|                | 実績値 | 47   | 38     |          |
| 単位: 団体/年       | 達成率 |      | 63.3%  | 0.0%     |

| 成果指標(アウトカム)     | 年度  | R1年度 | R4年度   | R7年度(最終) |
|-----------------|-----|------|--------|----------|
| [施策]一人あたりの可燃ごみ排 | 目標値 |      | 200    | 200      |
| 出量              | 実績値 | 228  | 224    |          |
| 単位: kg/年        | 達成率 |      | 112.0% | 0.0%     |
| リサイクルボックス及び古紙類回 | 目標値 |      | 1,200  | 1,200    |
| 収量              | 実績値 | 937  | 791    |          |
| 単位: t/年         | 達成率 |      | 65.9%  | 0.0%     |

|   |     | 10420201                  |    | 所管課       | 都市政策部 道路環境整備課       | 事業年 | <b>丰度</b> | 令和4年度  | 事業区分     | _       |
|---|-----|---------------------------|----|-----------|---------------------|-----|-----------|--------|----------|---------|
| 4 | 事業名 | ごみ収集事業                    |    | 根拠法令      | 粕屋町廃棄物の処理及び清掃に関する条例 | 字 徨 | 章科目       | 会計     | 款 項 目 鹿皮 | <b></b> |
|   |     | この収集争未                    |    | 行政計画      |                     | J 5 | 早件日       | 一般会計   | 4 2 2 座5 | 广处垤筤    |
| 基 | 本目標 | 2 都市と自然が調和し、快適に暮らせる活力あるまち | 政策 | 3 自然にやさしく | 住みよい環境のまちづくり        | 施策  | (2) 環境負   | 負荷の少ない | 盾環型社会の創造 |         |

前期基本計画の主な取組と成果

○ごみの適正な処分方法を周知徹底することで、ごみの分別や減量の意識向 上を図った。

#### 後期基本計画のまちづくりの課題と展望

○持続可能な社会に向けたSDGsの推進など、地球規模での環境問題への意識が高まる中、循環型社会に向けたさらなる取組みが求められている。ごみの適切な搬出方法を周知し、ごみの分別徹底を図る取組みが必要となっている。 ○クリーンパークわかすぎの稼働協定期間終了に向け、次期ごみ処理施設の処理方法に応じた分別や収集体系に対する協議が必要となっている。

#### 後期基本計画中における事務事業の取組方向

○住民や事業所に対し適切なごみの処分方法の周知を徹底し、次期処理施設 稼働に適応した分別や収集体系について協議を進める。

## 2. 実施計画(PDCAサイクル)

## 計画(Plan)

#### 事業目的

〇一般廃棄物の適正処理を行い、安定した収集運搬体制を整備するため。

#### 計画(Plan)

実施方法

○住民や事業所に対し、適切なごみの処分方法の周知を徹底し、収集ルートやごみ置き場について収集業者と慎重に協議を行っている。また、計画的に指定ごみ袋の作製を行う。

## 実施(Do)

| 事業費(千円)      |         |         |  |  |  |  |  |  |  |
|--------------|---------|---------|--|--|--|--|--|--|--|
| 年度           | R3決算額   | R4決算額   |  |  |  |  |  |  |  |
| 歳出           | 386,256 | 401,949 |  |  |  |  |  |  |  |
| 歳入<br>(特定財源) | 133,050 | 135,108 |  |  |  |  |  |  |  |

## 実施(Do)

#### 実施結果

- ○ごみの適正な処分方法の周知や指導。
- ○住宅会社や収集業者とごみ置場や収集ルートについての協議。
- 〇計画的な指定ごみ袋の作製。

## 評価(Check)

課題

○ごみ出し時間や分別が守られていないごみの減少。

○独居高齢者や肢体不自由者への個別対応案件が増えている。

#### 改善(Action)

改善方法

○集合住宅の管理会社を通じての啓発や地域回覧による周知を強化していく。

## 3. 事業フロー(ロジックモデル)

#### (1)結果のアウトプット(どのような活動を行うのか)

- ○可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみ等の収集運搬
- ○分別収集の4種類のごみ袋と粗大ごみシールの作成

#### ②効果のアウトプット(活動の結果どうなるのか)

単位:

- ○町内全域の安定したごみの収集が可能となる。
- ○指定ごみ袋制により、ごみの分別が徹底される。

## ③アウトカム(町としてどうなるのか)

○住民のごみ分別に対する意識が高まり、ごみが適正に処理される。

| 活動指標(アウトプット)   | 年度  | R1年度 | R4年度   | R7年度(最終) |
|----------------|-----|------|--------|----------|
| 分別収集に関する広報実施件数 | 目標値 |      | 2      | 2        |
|                | 実績値 | 1    | 2      |          |
| 単位: 件/年        | 達成率 |      | 100.0% | 0.0%     |
|                | 目標値 |      |        |          |
|                | 実績値 |      |        |          |
| 単位:            | 達成率 |      |        |          |

|             | 成果指標(アウトカム) | 年度  | R1年度 | R4年度 | R7年度(最終) |
|-------------|-------------|-----|------|------|----------|
|             |             | 目標値 |      |      |          |
| <b>&gt;</b> |             | 実績値 |      |      |          |
|             | 単位:         | 達成率 |      |      |          |
|             |             | 目標値 |      |      |          |
| <b>&gt;</b> |             | 実績値 |      |      |          |

達成率

|      | 10420301                  |    | 所管課       | 都市政策部 道路環境整備課                  | 事業年 | F度      | 令和4年度  |     | 事業区分   | R4重点     |
|------|---------------------------|----|-----------|--------------------------------|-----|---------|--------|-----|--|----------|
| 事業名  | 清掃センター保安管理事業              |    | 根拠法令      | 廃棄物焼却施設内作業におけるダイオキシン類ばく露防止対策要紙 | 3.2 | <br>算科目 | 会計     | 款   | 項目   | やセンター管理費 |
|      | 月がピンダー休女自任事未              |    | 行政計画      |                                | J € | 717 日   | 一般会計   | 4   | 2 3 <sup>/</sup> 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 | アピング 日任員 |
| 基本目標 | 2 都市と自然が調和し、快適に暮らせる活力あるまち | 政策 | 3 自然にやさしく | 住みよい環境のまちづくり                   | 施策  | (1) 次世代 | 弋に継承する | 自然環 | 環境の保全  |          |

| 前期基本計画の主な取組と成果                      |
|-------------------------------------|
| 〇県の指導のもと、清掃センター(旧焼却場)の土壌汚染状況調査及び詳細調 |
| 査を土壌汚染対策法に基づき行った。                   |

後期基本計画のまちづくりの課題と展望 〇老朽化した施設の解体撤去工事を早期かつ安全に執り行い、周辺住民の安 心を得る必要がある。 後期基本計画中における事務事業の取組方向 〇解体撤去工事中において関連法規を遵守し、安全対策、災害・公害防止を 十分に行い、周辺地域の環境保全に努める。

## 2. 実施計画(PDCAサイクル)

## 計画(Plan)

## 事業目的

〇昭和53年に稼働し平成14年に停止している粕屋町清掃センター(焼却能力:20t/8h×2炉)の解体撤去及び汚染土壌掘削除去工事を行うため。

## 計画(Plan)

実施方法
○福岡県土壌汚染対策要綱に基づき、敷地内の汚染土壌を適正に掘削除去

課題

# 実施(Do)

| 事業費(千円)      |         |         |  |  |  |  |  |  |  |  |
|--------------|---------|---------|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 年度           | R3決算額   | R4決算額   |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 歳出           | 169,347 | 324,928 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 歳入<br>(特定財源) | 152,752 | 292,400 |  |  |  |  |  |  |  |  |

改善方法

## 実施(Do)

#### 実施結果

○福岡県土壌汚染対策要綱に基づき、敷地内の汚染土壌を適正に掘削除去 及び搬出し、工事の全工程完了した。現地更地。

## 評価(Check)

>

〇工事に対しての地元住民からの苦情ゼロ。

## 改善(Action)

○跡地利用の検討。

## 3. 事業フロー(ロジックモデル)

## ①結果のアウトプット(どのような活動を行うのか)

○老朽化した施設の解体撤去工事を行う。

#### ②効果のアウトプット(活動の結果どうなるのか)

○周辺住民の安全安心が得られる。

## ③アウトカム(町としてどうなるのか)

〇跡地利用が見込まれる。

| 活動指標(アウトプット) | 年度  | R1年度 | R4年度 | R7年度(最終) |
|--------------|-----|------|------|----------|
|              | 目標値 |      |      |          |
|              | 実績値 |      |      |          |
| 単位:          | 達成率 |      |      |          |
|              | 目標値 |      |      |          |
|              | 実績値 |      |      |          |
| 単位:          | 達成率 |      |      |          |

| 成果指標(アウトカム) | 年度  | R1年度 | R4年度 | R7年度(最終) |
|-------------|-----|------|------|----------|
|             | 目標値 |      |      |          |
|             | 実績値 |      |      |          |
| 単位:         | 達成率 |      |      |          |
|             | 目標値 |      |      |          |
|             | 実績値 |      |      |          |
| 単位:         | 達成率 |      |      |          |

|      | 10810101                  | 所管課         | 都市政策部 道路環境整備課  | 事業年度      | 令和4年度      | 事業区分     | _   |
|------|---------------------------|-------------|----------------|-----------|------------|----------|-----|
| 事業名  | 土木管理事務                    | 根拠法令        | 道路法            | 予算科目      | 会計款        | 項 目 + ** | 総務費 |
|      | 上个官垤争伤                    | 行政計画        | 粕屋町都市計画マスタープラン | 了异科日      | 一般会計 8     | 1 1 1    | 心伤其 |
| 基本目標 | 2 都市と自然が調和し、快適に暮らせる活力あるまち | 政策 2 安心で快適な | 生活基盤を備えたまちづくり  | 施策 (1) 安全 | 全で快適な道路ネット | ワークの充実   |     |

前期基本計画の主な取組と成果

〇町民生活に直接かかわる生活道路の安全性·快適性の確保や利便性の向上 に向け維持管理に努めた。

#### 後期基本計画のまちづくりの課題と展望

〇土木行政全般(道路占用・使用申請、道路工事や用地買収、道路形状の変更等)にかかわる事務に対して更なる迅速な対応を行うことにより、生活道路の安全性・快適性の確保や利便性の向上が見込まれる。

#### 後期基本計画中における事務事業の取組方向

〇町民生活に直接かかわる生活道路の安全性・快適性の確保や利便性の向上 に向け維持管理に努めるに留まらず、道路の長寿命化にも取り組む。

## 2. 実施計画(PDCAサイクル)

## 計画(Plan)

### 事業目的

〇生活道路の安全性·快適性の確保や利便性の向上に向けた策定の基盤作り た行う

#### 計画(Plan)

実施方法

〇土木行政全般(道路占用・使用申請・道路工事や用地買収、道路形状の変更等)にかかわる事務を正確に管理し、適宜データ化を行い、情報の保全に努める。

○道路台帳システムの再構築を行い、道路管理の高度化·効率化を向上させる。

## 実施(Do)

|   |              | 事業費(千円) |       |
|---|--------------|---------|-------|
|   | 年度           | R3決算額   | R4決算額 |
| - | 歳出           | 16,743  | 9,745 |
|   | 歳入<br>(特定財源) | 81      | 66    |

## 実施(Do)

#### 実施結果

○道路占用や道路工事施行承認においては許可後、現地調査を行い、適正な 占用、施行の管理を行った。

○道路パトロールを継続し道路管理瑕疵による事故の減少に努めた。

## 評価(Check)

課題

○道路施設や舗装の老朽化及び交通量の増加による道路の剥離及び陥没等を早期に発見するため道路パトロールを継続的に実施する必要がある。

○道路工事施工承認等の窓口業務において、対応した職員により差が生じないように業務マニュアルや基準等を作成する必要がある。

#### 改善(Action)

#### 改善方法

○道路パトロールの継続や地元要望等により道路等の危険箇所の早期発見を 行い、対策を講じる。また、引き続き業務マニュアルや基準等を作成する。

## 3. 事業フロー(ロジックモデル)

## ①結果のアウトプット(どのような活動を行うのか)

- ○道路占用、使用申請の許可·管理
- ○道路用地等取得分の分筆·登記事務
- ○道路台帳の整備

#### ②効果のアウトプット(活動の結果どうなるのか)

○正確な道路管理情報の提供ができる。

#### ③アウトカム(町としてどうなるのか)

○道路環境の正確な把握により、交通渋滞の緩和、道路の安全確保、利便性 の向上に向けた方策決定の基盤ができる。

| 活動指標(アウトプッ | ト)  年度 | R1年度 | R4年度   | R7年度(最終) |
|------------|--------|------|--------|----------|
| 登記件数       | 目標値    |      | 10     | 20       |
|            | 実績値    | 11   | 11     |          |
| 単位: 件/年    | 達成率    |      | 110.0% | 0.0%     |
|            | 目標値    |      |        |          |
|            | 実績値    |      |        |          |
| 単位:        | 達成率    |      |        |          |

| 成果指標(アウトカム) | 年度  | R1年度      | R4年度      | R7年度(最終)  |
|-------------|-----|-----------|-----------|-----------|
| 町道総面積       | 目標値 |           | 1,135,000 | 1,140,000 |
|             | 実績値 | 1,134,768 | 1,152,593 |           |
| 単位: 延べ㎡     | 達成率 |           | 101.6%    | 0.0%      |
|             | 目標値 |           |           |           |
|             | 実績値 |           |           |           |
| 単位:         | 達成率 |           |           |           |

|      | 10820101                  |    | 所管課      | 都市政策部 道路環境整備課 | 事業年        | E度 令和     | 4年度   | 事業区分    | _           |
|------|---------------------------|----|----------|---------------|------------|-----------|-------|---------|-------------|
| 事業名  | 道路維持修繕事業                  |    | 根拠法令     | 道路法           | 又但         | 科目        | 計款    | 項目。     | 維持修繕費       |
|      | <b>担</b>                  |    | 行政計画     | なし            | <i>У ў</i> | 一般        | 会計 8  | 2 1 追路  | · 桩 付 修 褶 負 |
| 基本目標 | 2 都市と自然が調和し、快適に暮らせる活力あるまち | 政策 | 2 安心で快適な | 生活基盤を備えたまちづくり | 施策         | (1) 安全で快適 | な道路ネッ | トワークの充実 |             |

前期基本計画の主な取組と成果
○通学路点検や行政区要望に基づく、道路整備を実施している。また、道路パトロールによる危険箇所の維持補修を実施している。

後期基本計画のまちづくりの課題と展望

○通学路点検や行政区要望に基づく、道路整備を実施しているが、歩道整備のための用地確保が困難になっている。

後期基本計画中における事務事業の取組方向 〇道路パロール、通学路点検、行政区要望などにより危険個所を把握し道路 整備を実施していく。

## 2. 実施計画(PDCAサイクル)

## 計画(Plan)

事業目的

○道路施設の老朽化や破損個所を把握し、補修や安全対策を施すことにより、 良好な道路環境を維持する。

## 計画(Plan)

>

>

実施方法

○道路パトロールを行い、道路施設の老朽化や危険箇所を把握する。
○老朽化筒所、要望筒所等の工事を行う。

## 実施(Do)

|   | 2 (n) ( /    |         |        |
|---|--------------|---------|--------|
|   |              | 事業費(千円) |        |
|   | 年度           | R3決算額   | R4決算額  |
| - | 歳出           | 81,590  | 85,715 |
|   | 歳入<br>(特定財源) | 0       | 0      |

## 実施(Do)

実施結果

〇行政区要望、道路パトロール、損傷報告システムにより道路、水路等の損傷 箇所を把握し修繕工事を行った。

## 評価(Check)

〇老朽化や交通量の変化により舗装の損傷箇所が多い。

## 改善(Action)

改善方法

○道路パトロール強化により損傷箇所の早期発見·修繕に努め、緊急性や経済性を踏まえ、より効果的な修繕を実現する。

## 3. 事業フロー(ロジックモデル)

#### (1)結果のアウトプット(どのような活動を行うのか)

- ○地元要望、道路パトロールによる危険箇所の把握、調査
- ○道路施設の維持補修
- ○通学路の危険箇所の改修

#### ②効果のアウトプット(活動の結果どうなるのか)

課題

○道路の良好な環境が整備される。

#### ③アウトカム(町としてどうなるのか)

○道路環境の向上により、交通渋滞の緩和、道路の安全確保、利便性が高まる

| 活動指標(アウトプット) | 年度  | R1年度 | R4年度  | R7年度(最終) |
|--------------|-----|------|-------|----------|
| 道路維持補修件数     | 目標値 |      | 100   | 100      |
|              | 実績値 | 100  | 67    |          |
| 単位: 件/年      | 達成率 |      | 67.0% | 0.0%     |
| 舗装維持補修件数     | 目標値 |      | 40    | 40       |
|              | 実績値 | 40   | 38    |          |
| 単位: 件/年      | 達成率 |      | 95.0% | 0.0%     |

| 成果指標(アウトカム) | 年度  | R1年度 | R4年度 | R7年度(最終) |
|-------------|-----|------|------|----------|
|             | 目標値 |      |      |          |
|             | 実績値 |      |      |          |
| 単位:         | 達成率 |      |      |          |
|             | 目標値 |      |      |          |
|             | 実績値 |      |      |          |
| 単位:         | 達成率 |      |      |          |

|      | 10820204                  |    | 所管課      | 都市政策部 道路環境整備課 | 事業生  | 丰度      | 令和4年度    | 事業区分    | _     |
|------|---------------------------|----|----------|---------------|------|---------|----------|---------|-------|
| 事業名  | 道路新設改良事業                  |    | 根拠法令     | 道路法           | 字 智  | 算科目     | 会計款      | 項目      | 新設改良費 |
|      | 担断机议以及争未                  |    | 行政計画     | 舗装個別施設計画      | J' A | 异什日     | 一般会計 8   | 2 2 追路  | 机议以及其 |
| 基本目標 | 2 都市と自然が調和し、快適に暮らせる活力あるまち | 政策 | 2 安心で快適な | 生活基盤を備えたまちづくり | 施策   | (1) 安全で | で快適な道路ネッ | トワークの充実 |       |

前期基本計画の主な取組と成果

○近年、大型車の交通量の増加に伴い、道路舗装の劣化が著しく、整備が遅れている。路面性状調査や舗装長寿命化計画の策定し、補助事業を活用し、道路 (舗装)改良工事を実施した。 後期基本計画のまちづくりの課題と展望

○舗装個別施設計画に沿って、改良工事を実施するとともに、予防保全の観点から早期に補修工事を実施する。

後期基本計画中における事務事業の取組方向

○補助事業を活用しながら、舗装個別施設計画に沿って老朽化した道路舗装 の整備を行っていく。

## 2. 実施計画(PDCAサイクル)

計画(Plan)

事業目的

〇安全・安心な交通体系の充実を図る。

計画(Plan)

実施方法 〇舗装個別施設計画に沿い、交通量を考慮したうえで主要幹線道路の舗装整 供表を含み

課題

〇町道蒲田·長者原線の損傷が大きな区間に対し舗装の打替え工事を行う。

実施(Do)

| 事業費(千円)      |        |        |  |  |  |  |  |  |
|--------------|--------|--------|--|--|--|--|--|--|
| 年度           | R3決算額  | R4決算額  |  |  |  |  |  |  |
| 歳出           | 66,735 | 40,808 |  |  |  |  |  |  |
| 歳入<br>(特定財源) | 54,140 | 24,975 |  |  |  |  |  |  |

## 実施(Do)

実施結果

〇町道蒲田・長者原線道路舗装工事を行った。

評価(Check)

○大型車両の交通量増加により道路舗装の劣化が著しい。 ○夜間工事であったが、騒音・振動等の苦情はなかった。 改善(Action)

改善方法

〇路面状況調査を行い、計画的な道路舗装工事を実施する。

## 3. 事業フロー(ロジックモデル)

#### ①結果のアウトプット(どのような活動を行うのか)

- ○老朽化した道路舗装の整備。
- ○都市間幹線道路、地域間幹線道路の整備。
- ○道路照明の整備

②効果のアウトプット(活動の結果どうなるのか)

>

○道路の良好な環境が整備される。

③アウトカム(町としてどうなるのか)

○道路環境の向上により、交通渋滞の緩和、道路の安全確保、利便性が高まる

| 活動指標(アウトプット) | 年度  | R1年度 | R4年度   | R7年度(最終) |
|--------------|-----|------|--------|----------|
|              | 目標値 |      |        |          |
|              | 実績値 |      |        |          |
| 単位:          | 達成率 |      |        |          |
| 道路新設改良の延長    | 目標値 |      | 180    | 500      |
|              | 実績値 | 30   | 180    |          |
| 単位: m        | 達成率 |      | 100.0% | 0.0%     |
| •            |     |      |        |          |

成果指標(アウトカム) 年度 R1年度 R4年度 R7年度(最終) 目標値 実績値 単位: 達成率 [施策]歩道設置道路の総延長 目標値 46,150 47,000 実績値 45.325 46.072 達成率 99.8% 0.0% 単位: m

|      | 10820301                  |    | 所管課      | 都市政策部 道路環境整備課 | 事業年  | 度           | 令和4年度   | 事業区分     | _     |
|------|---------------------------|----|----------|---------------|------|-------------|---------|----------|-------|
| 事業名  | 橋梁維持事業                    |    | 根拠法令     | 道路法           | 字,但  | 科目          | 会計 款    | 項目振物     | 維持費   |
|      | <b>向朱祉</b> 付尹未            |    | 行政計画     | 粕屋町橋梁長寿命化修繕計画 | 1/ 字 | 7-17-11<br> | 一般会計 8  | 2 3 10 木 | :他]寸貝 |
| 基本目標 | 2 都市と自然が調和し、快適に暮らせる活力あるまち | 政策 | 2 安心で快適な | 生活基盤を備えたまちづくり | 施策   | (1) 安全で     | 央適な道路ネッ | トワークの充実  |       |

前期基本計画の主な取組と成果 〇道路橋梁の定期点検を実施し、長寿命化計画に沿って補修工事を実施した。

## 後期基本計画のまちづくりの課題と展望

○長寿命化計画に沿って、道路や橋梁の改良工事を実施するとともに、予防保全の観点から早期に補修工事を実施するなど、計画的な維持管理が必要となっている。

## 後期基本計画中における事務事業の取組方向

○道路橋梁の定期点検を実施し、長寿命化計画に沿って補修工事を実施す

## 2. 実施計画(PDCAサイクル)

## 計画(Plan)

事業目的

○橋梁の定期点検を実施し、予防保全型の修繕を行うとともに、維持管理コスト の縮減を行う。

#### 計画(Plan)

実施方法
○5年に一度の定期点検を継続的に実施し、点検の結果、補修が必要な橋梁に対しては速やかに補修に着手する。

○管理橋梁122橋のうち、令和4年度は43橋の点検を行う。

## 実施(Do)

| 事業費(千円)      |        |       |  |  |  |  |  |
|--------------|--------|-------|--|--|--|--|--|
| 年度           | R3決算額  | R4決算額 |  |  |  |  |  |
| 歳出           | 13,579 | 2,300 |  |  |  |  |  |
| 歳入<br>(特定財源) | 10,820 | 950   |  |  |  |  |  |

## 実施(Do)

実施結果

○43橋の橋梁点検において、健全性の診断を行った。

## 評価(Check)

課題

〇早急に補修を必要とする橋梁はなかったが、予防措置として橋梁補修を検討してい く必要がある。

## 改善(Action)

改善方法

軽微な損傷が見られる橋梁の把握を行い、予防措置として損傷が悪化しないための補修工事を行う。

## 3. 事業フロー(ロジックモデル)

#### (1)結果のアウトプット(どのような活動を行うのか)

○道路橋梁の点検・補修

#### ②効果のアウトプット(活動の結果どうなるのか)

○橋梁の長寿命化を図られる。

#### ③アウトカム(町としてどうなるのか)

○橋梁の長寿命化により、道路網の安全、交通体系が確保される。

| 活動指標(アウトプット) | 年度  | R1年度 | R4年度   | R7年度(最終) |
|--------------|-----|------|--------|----------|
| 道路橋梁点検件数     | 目標値 |      | 43     | 29       |
|              | 実績値 | 3    | 43     |          |
| 単位: 件        | 達成率 |      | 100.0% | 0.0%     |
| 橋梁の補修件数      | 目標値 |      | 0      | 1        |
|              | 実績値 | 2    | 0      |          |
| 単位: 件        | 達成率 |      |        | 0.0%     |

|          | 以来指標(アワトカム) | 牛皮  | KI年度 | K4年度 | R/年度( |
|----------|-------------|-----|------|------|-------|
|          |             | 目標値 |      |      |       |
| <b>-</b> |             | 実績値 |      |      |       |
|          | 単位:         | 達成率 |      |      |       |
|          |             | 目標値 |      |      |       |
| <b>•</b> |             | 実績値 |      |      |       |
|          | 単位:         | 達成率 |      |      |       |

|      | 10820401                  |    | 所管課      | 都市政策部 道路環境整備課 | 事業年 | 连度      | 令和4年度 |      | 事業区分   | _            |
|------|---------------------------|----|----------|---------------|-----|---------|-------|------|--------|--------------|
| 事業名  | 交通安全施設整備事業                |    | 根拠法令     | 道路法           | 又 僧 | 科目      | 会計    | 款    | 項目     | 安全施設整備事業費    |
|      | <b>人四女王爬改崔佣争</b> 亲        |    | 行政計画     | なし            | 上为  | F17 E1  | 一般会計  | 8    | 2 4    | 4. 女王心改造佛尹未真 |
| 基本目標 | 2 都市と自然が調和し、快適に暮らせる活力あるまち | 政策 | 2 安心で快適な | 生活基盤を備えたまちづくり | 施策  | (1) 安全で | 快適な道路 | ネットワ | アークの充実 |              |

前期基本計画の主な取組と成果

○通学路点検や行政区要望に基づき、ガードレールなどの交通安全施設の整備を実施した。

#### 後期基本計画のまちづくりの課題と展望

○交通量の多い本町において、子どもや高齢者が安全に通行できる歩行路に対する町民のニーズは高くなっている。

○通学路に関して、関係機関と連携し点検を行い、交通安全施設が老朽化している箇所など、危険箇所の解消を行う必要がある。

#### 後期基本計画中における事務事業の取組方向

○道路パトロール、通学路点検、行政区要望などにより危険個所を把握し交通 安全施設の整備を実施していく。

## 2. 実施計画(PDCAサイクル)

## 計画(Plan)

事業目的

○交通安全施設の整備を行い、安全で快適な住環境の保持を図る。

#### 計画(Plan)

実施方法

○道路パトロールや行政区からの要望をもとに危険箇所を把握する。

○ガードレールなどの交通安全施設の新設や更新を行う。

#### 実施(Do)

|   |              | 事業費(千円) |        |
|---|--------------|---------|--------|
|   | 年度           | R3決算額   | R4決算額  |
| - | 歳出           | 26,665  | 30,186 |
|   | 歳入<br>(特定財源) | 0       | 0      |

## 実施(Do)

実施結果

〇行政区要望、通学路点検、ライン損傷報告システム等により、整備箇所や損傷箇所を把握し、道路反射鏡工事、区画線工事、防護柵工事を行った。 通学路交通安全プログラムの対応未了箇所について、令和4年度にて全て対応 完了済み

## 評価(Check)

○道路区画線の消えかかっている箇所が多い。

## 改善(Action)

改善方法

〇町内全域の道路区画線状況を調査し、令和5年度は道路区画線工事を優先的に行っている。

## 3. 事業フロー(ロジックモデル)

#### (1)結果のアウトプット(どのような活動を行うのか)

- ○交通安全施設である区画線の補修並びに新設工事。
- ○防護柵、カーブミラー等の補修・新設工事。
- ○通学路の安全施設の整備工事。

#### ②効果のアウトプット(活動の結果どうなるのか)

課題

- ○道路交通の危険箇所の安全性が確保される。
- ○安全な児童の通学路が確保される。

## ③アウトカム(町としてどうなるのか)

○歩行者、車にとって安全に通行・運転できる環境が整う。

| 活動指標(アウトプット) | 年度  | R1年度 | R4年度   | R7年度(最終) |
|--------------|-----|------|--------|----------|
| 道路構造物新設補修件数  | 目標値 |      | 50     | 50       |
|              | 実績値 | 50   | 55     |          |
| 単位: 件/年      | 達成率 |      | 110.0% | 0.0%     |
|              | 目標値 |      |        |          |
|              | 実績値 |      |        |          |
| 単位:          | 達成率 |      |        |          |
|              |     |      | ·      |          |

| 成果指標(アウトカム) | 年度  | R1年度 | R4年度 | R7年度(最終) |
|-------------|-----|------|------|----------|
|             | 目標値 |      |      |          |
|             | 実績値 |      |      |          |
| 単位:         | 達成率 |      |      |          |
|             | 目標値 |      |      |          |
|             | 実績値 |      |      |          |
| 単位:         | 達成率 |      |      |          |

|      | 10830101 10430101         |    | 所管課      | 都市政策部 道路環境整備課       | 事業年度 | 令和4年度        | 事業区分      | R4重点       |
|------|---------------------------|----|----------|---------------------|------|--------------|-----------|------------|
| 事業名  | 河川維持事業/下水路整備事業            |    | 根拠法令     | 道路法、河川法             | 予算科  | 会計制          | ( 項 目 河)  | 維持費        |
|      | 州州松村争朱/ 下小时登佛争朱           |    | 行政計画     | 準用河川については維持管理計画策定予定 | 1 异化 | 一般会計 8       | 3 1       | 他付其        |
| 基本目標 | 2 都市と自然が調和し、快適に暮らせる活力あるまち | 政策 | 2 安心で快適な | 生活基盤を備えたまちづくり       | 施策(3 | ) 安全で安心な水源の研 | 催保と水環境の基準 | <b>盤強化</b> |

#### 前期基本計画の主な取組と成果

○浸水による被害を軽減させるため、分水路の設置工事を実施するほか、道路 パトロールによる側溝(排水のために道路に沿って設けた溝)などの閉塞箇所の 調査及び堆積物の取り除きを行った。また、水害対策資材の確保や行政区への 土のうの配布を行った。

#### 後期基本計画のまちづくりの課題と展望

○道路パトロールによって河川や側溝などの現状を把握し、雨天時の行動をマニュアル化するとともに、他の部局と連携しながら浸水対策を行う必要がある。

#### 後期基本計画中における事務事業の取組方向

○準用河川については維持管理計画を策定し計画的に浚渫を行う。 ○道路側溝については道路パトロールにより堆積箇所を発見し、浚渫を行う。 ○水害対策資材の確保や行政区への土のう配布を行う。

## 2. 実施計画(PDCAサイクル)

## 計画(Plan)

## 事業目的

準用河川の維持管理と道路側溝の浚渫を行い、水害の防止と良好な住環境を 保持する。

#### 計画(Plan)

〇仲原川の護岸・浚渫工事を行う。

○道路側溝の浚渫を行う。

### 実施(Do)

|   |              | 事業費(千円) |         |
|---|--------------|---------|---------|
|   | 年度           | R3決算額   | R4決算額   |
| • | 歳出           | 23,327  | 100,837 |
|   | 歳入<br>(特定財源) | 14,300  | 93,300  |

## 実施(Do)

#### 実施結果

〇道路側溝等については20箇所の浚渫を行った。仲原川については鋼矢板護 岸工事を行った。

## 評価(Check)

>

○仲原川においては、引き続き護岸工事及び浚渫工事を行っていく必要がある。

課題

実施方法

## 改善(Action)

改善方法

○令和4度に引き続き、令和5年度においても仲原川の鋼矢板護岸工事を行っ

## 3. 事業フロー(ロジックモデル)

#### ①結果のアウトプット(どのような活動を行うのか)

○河川の堆積物の浚渫

○応急修繕資材の備蓄

#### ②効果のアウトプット(活動の結果どうなるのか)

○豪雨等の風水害に備える水害対策が整う。

#### ③アウトカム(町としてどうなるのか)

○水害被害が軽減され、安全が確保される。

| イギルエ   | / <del></del> |     | D1 /= = | D155   | D7 5 5 (8 %) |
|--------|---------------|-----|---------|--------|--------------|
| 古動指標   | (アウトプット)      | 年度  | R1年度    | R4年度   | R7年度(最終)     |
| 土嚢袋備蓄量 |               | 目標値 |         | 6,000  | 6,000        |
|        |               | 実績値 | 6,390   | 6,390  |              |
| 単位:    | 袋             | 達成率 |         | 106.5% | 0.0%         |
|        |               | 目標値 |         |        |              |
|        |               | 実績値 |         |        |              |
| 単位:    |               | 達成率 |         |        |              |

| 成果指標(アウトカム) | 年度  | R1年度 | R4年度   | R7年度(最終) |
|-------------|-----|------|--------|----------|
| 河川浚渫延長      | 目標値 |      | 70     | 350      |
|             | 実績値 | 0    | 83     |          |
| 単位: m       | 達成率 |      | 118.6% | 0.0%     |
|             | 目標値 |      |        |          |
|             | 実績値 |      |        |          |
| 単位:         | 達成率 |      |        |          |